

# 石川県の採種地

## JA白山

水稲・大麦・大豆種子の生産

- 霊峰白山山系の中山間地に位置し、白山を源流とする石川県内最大河川である手取川沿いの扇状地に採種地が展開しており、豊富な水量、日較差の大きい気象条件、肥沃な堆積土等の立地条件は農作物の栽培に最適で、古くから質の良い水稲種子「白山種粳」の生産が行われてきた。
- 種子生産の歴史は古く、昭和24年に「石川県指定採種圃」を設置したことを契機に採種に取り組み、50数年の伝統と歴史を持つ採種地である。



白山



JA白山 水稲採種圃場



JA小松市 大麦採種圃場



安宅の関

## JA小松市

水稲・大麦種子の生産

- 小松市街地の東方向に位置し、大日岳山系の山麓で平家物語に登場する仏御前生誕の地である原町から、地域を貫流する湊上川沿いに中海町まで水稲の採種地、大麦は大杉谷川沿いの波佐谷城址周辺に採種地が展開している。
- 採種地としては県内では新しく、平成13年産から水稲、大麦の採種地として種子生産に取り組み、冷涼で日較差の大きい中山間地の気象特性から充実度の高い純良な種子生産が行われている。



JAはくい 水稲採種圃場

## JAはくい

水稲・大豆種子の生産

- 水稲種子生産地は羽咋市街地の東方に位置し、富山県境の石動山山系の中山間地から畠知地溝帯周辺の水田地帯までの飯山川沿いに、また、大豆種子は宝達山麓を中心に採種地が展開しており、肥沃な土壌、気象条件等から優良な種子生産が行われている。
- 採種の歴史は古く、昭和12年頃には種籾の生産・販売の記録(畠知農協)が残っており、昭和24年から「石川県指定採種圃」の指定を受け組織的な採種に取り組み、大豆種子は昭和55年に「大豆緊急種子圃」の指定を受けたことを契機に生産に取り組んでいる。



JAはくい 大豆採種圃場



JA金沢市 水稲採種圃場

- 県都金沢市の東方向に位置し、市街地の背景となる医王山山麓に採種地が展開しており、急峻な山間地ながら基盤整備が完了していることから効率的な種子生産が行われている。
- 種子生産は、昭和48年の生産調整を契機に始められ、医王山の豊富な湧水を用水として利用しており、冷涼で清らかな用水、翻田で日当たりが良く、日較差の大きい気象特性から種子の充実は良好で、優良な種子生産が行われている。

## JA金沢市

水稲種子の生産



第六園



はくい 千里浜